

第V部 今までに紹介した以外の健康安全機関、団体等の組織、活動等について

英国には多くの民間団体が、労働健康安全に関する普及啓発、教育訓練、技術的資料の作成発行、コンサルタント等を行っている。これらのうち、主なものについて、次に紹介します。

1 イギリス安全評議会(The British Safety Council (略称: BSC) : ウェブサイト: <https://www.britsafe.org/>) (資料作成者注: この記述の内容については 2022 年 5 月に確認しました。)

1957年に設立され、英国を含む60カ国以上で会員が存在し、政府登録の慈善的団体として金銭的寄付の免税措置を受けています。労働安全衛生に関する多くの教育訓練コース(通信教育コース(e-learning)を含みます。)を設置・運営しており、そのうちでよく知られているのは、National Examination Board for Occupational Safety and Health(略称: NEBOSH: <https://www.nebosh.org.uk/home/>)での修了の認定が得られる、原則30日以上安全衛生専門家の教育訓練コース(オンラインコース又は座学コースがあり、修了試験を含む。)です。

2 王立災害防止協会(The Royal Society for the Prevention of Accidents ; (略称: RoSPA: ウェブサイト: <http://www.rosipa.com/about/mission-vision/>) (資料作成者注: この記述の内容については 2022 年 5 月に確認しました。)

1916年に道路交通安全運動で発足し、現在でもその分野には力を入れているが、それ以外に職場、家庭、学校、水上でのスポーツ活動及びレジャーを含む多くの安全の分野で教育訓練、情報提供、助言、コンサルタント等を幅広く行っています。

3 イギリス労働衛生工学会(British Occupational Hygiene Society: 略称: BOHS : ウェブサイトは、<https://www.bohs.org/about-us/> (資料作成者注: この内容記述の内容については 2022 年 5 月に確認しました。)

専門家としての認証を受けた労働衛生工学専門家(Qualified Occupational Hygienists)を組織している英国で唯一の専門団体で、王室からの許可状を授与されている学会(Chartered Society)です。その運営するThe Faculty of Occupational Hygiene(労働衛生工学部)では、高度の専門的能力を有するOccupational Hygienistを教育訓練する研修コースを運営(修了試験を含みます。)しており、そのコースを修了して修了試験に合格した者に対しては、その旨の認証(Certificate)及び終了証(Diploma qualifications)を授与しています。また、国際労働衛生工学協会(International Occupational Hygiene Association)の創立(1987年)以来、その事務局として活動しています。

4 イギリス規格協会(British Standards Institute (略称: BSI : ウェブサイトは、<http://www.bsigroup.com/en-GB/>) (資料作成者注: この記述の内容については 2022 年 5 月に確認しました。)

1901年に設立された世界的にみても最も伝統のある標準化団体で、各種の工業的標準のほか、品質管理、環境管理、労働安全衛生等に関するBS規格等を策定しています。また、生産物や商品の品質保証及びEUの機械指令に基づくCEマークの付与等の認証業務も行っています。